

近世民家の集成（3）

近世研究プロジェクトチーム

はじめに

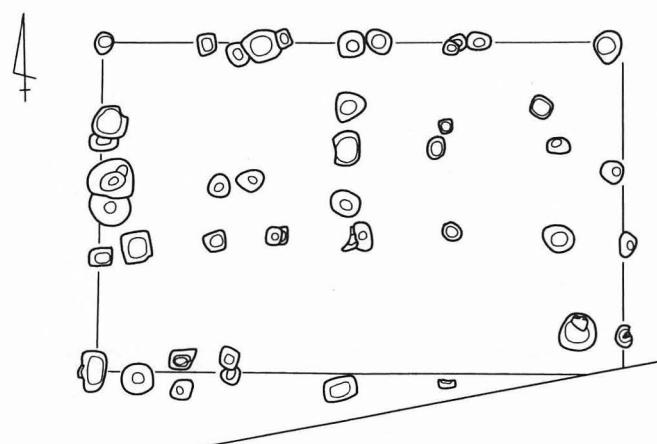
県内の近世民家の集成の第3回目である。前2回は本プロジェクトチームがまとめた「県内の近世遺跡集成表」に基づいて、横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市の順に実施してきたが、今回は紙面の都合上小田原市、相模原市、綾瀬市の3市を対象とした。

なお、すでに集成を終えた市において、報告されているにもかかわらず見落としていた事例や近年刊行された報告書に記載されている事例があることが明らかとなった。今後もこのようなケースが出てくると思われるが、それらについては補遺で扱うこととする。

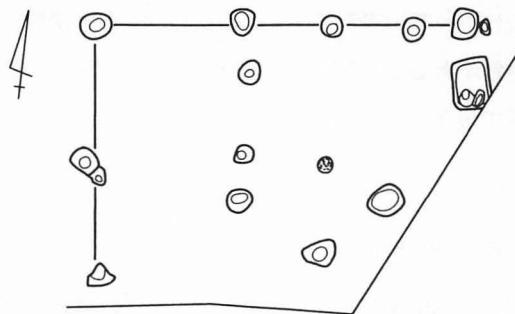
凡例

- ・資料Noは近世民家の集成（1）からの続き番号である。
- ・遺構名は報告書の記載に基づく。
- ・建物の縮尺は1/100とし、スケールを省略したが、規模の大きいものについては適宜縮尺を変え、図面ごとにスケールを示した。
- ・梁間、桁行の間数は単に柱穴の数ではなく、柱間距離から概略割り出した1間の梁間及び桁行寸法で換算した数値を示している。
- ・坪数は梁間×桁行の面積を、現行の一坪3.3m²で除したものである。
- ・建物の機能・構築時期については、報告書の記載に準じているが、母屋と付属建物の別が明確なもの、出土遺物から時期が推定できるものについては記載した。

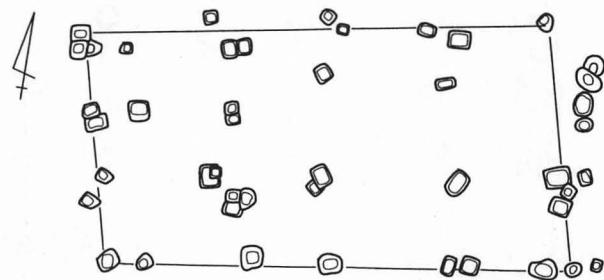
資料No.	60	遺跡名	御組長屋遺跡第Ⅱ地点				所在地	小田原市南町			
遺構名	1号掘立柱建物址			構築場所	丘陵縁辺から低地への移行部						
規模	梁間	4.5 m	桁行	6.6 m	3 × 4 間	面積	29.7 m ²	坪数	9坪		
柱穴の形状	隅丸方形、長方形	柱間距離	梁	1.1~1.6 m	桁	1.5~1.9 m	主軸方位	N-90°-E			
出土遺物					付属施設						
建物の機能	弓矢・鉄砲方足軽の居住棟				構築時期	18世紀~19世紀					
備考											



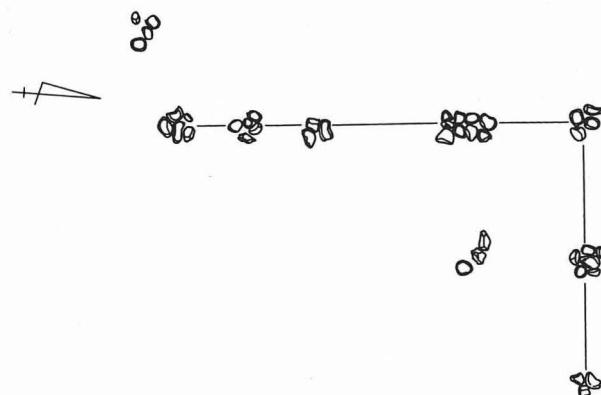
資料No.	61	遺跡名	御組長屋遺跡第Ⅱ地点				所在地	小田原市南町		
遺構名	2号掘立柱建物址			構築場所	丘陵縁辺から低地への移行部					
規模	梁間	3.5m~	桁行	5m	2~	×	3間	面積	m ²	坪数
柱穴の形状	円形・楕円形主体	柱間距離	梁	1.6、1.9m	桁	1.2~1.9m	主軸方位	N-83°-E		坪
出土遺物					付属施設					
建物の機能	弓矢・鉄砲方足軽の居住棟				構築時期	18世紀~19世紀				
備考	南側及び東側は調査区外に続いている可能性あり、1号掘立柱建物址よりもやや古い									



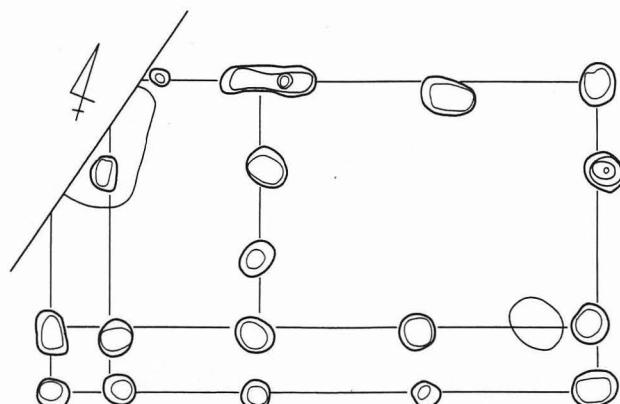
資料No.	62	遺跡名	御組長屋遺跡第Ⅱ地点				所在地	小田原市南町		
遺構名	3号掘立柱建物址			構築場所	丘陵縁辺から低地への移行部					
規模	梁間	3.3m	桁行	6m	1.5	×	3間	面積	19.8m ²	坪数
柱穴の形状	方形、長方形	柱間距離	梁	1.3、2.0m	桁	1.7~2.7m	主軸方位	N-83°-E		6坪
出土遺物					付属施設					
建物の機能	弓矢・鉄砲方足軽の居住棟				構築時期	18世紀後半~19世紀前半				
備考	梁がずれているのは地震の影響か									



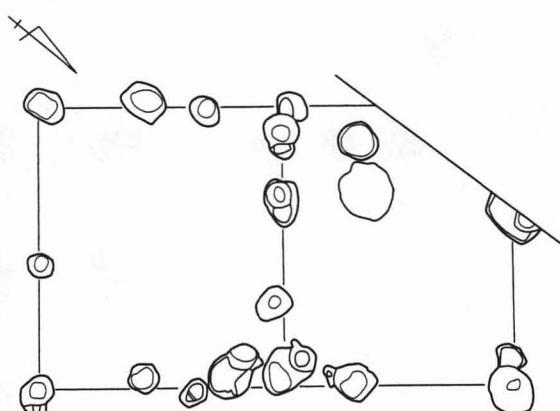
資料No.	63	遺跡名	小田原城三の丸藩校集成館第Ⅲ地点				所在地	小田原市本町		
遺構名	1号礎石建物址		構築場所							
規模	梁間	3.9m	桁行	6.6m	2	×	3	間	面積	m ²
柱穴の形状		柱間距離	梁	1.7、1.9m	桁	1.6、2.0m	主軸方位	N-13°-W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期	19世紀前半以降				
備考	藩校集成館に関連した礎石建物址、礎石は20cm前後の扁平な河原石3~9個からなる									



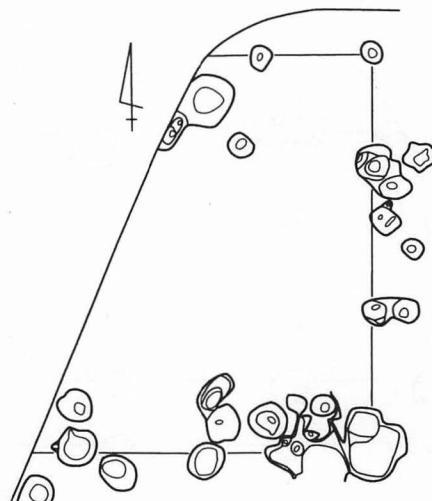
資料No.	64	遺跡名	中村遺跡				所在地	相模原市上鶴間		
遺構名	1号掘立柱建物址		構築場所		台地裾部					
規模	梁間	3.5m	桁行	6.7m	1.5	×	3	間	面積	23.5 m ²
柱穴の形状	円形、楕円形	柱間距離	梁	1.2、2.2m	桁	2.1~2.4m	主軸方位	N-80°-E		
出土遺物					付属施設	西側及び南側に庇有り				
建物の機能	母屋				構築時期	中世末~近世前半				
備考	報告書では、梁間6.3m・桁行8.8mの3×4間の建物址とされているが、西側と南側は付属施設と判断した									



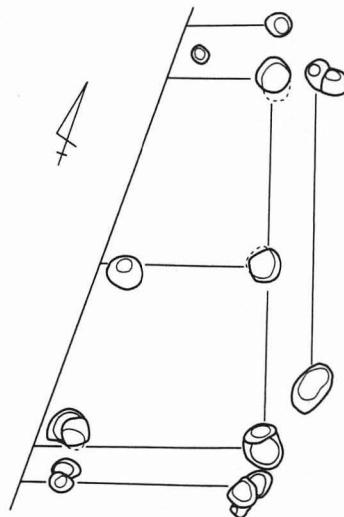
資料No.	65	遺跡名	中村遺跡				所在地	相模原市上鶴間			
遺構名	3号掘立柱建物址			構築場所	台地裾部						
規模	梁間	3.9 m	桁行	6.6 m	2 × 3 間	面積	25.7 m ²	坪数	7.8坪		
柱穴の形状	円形主体	柱間距離	梁	1.7、2.2 m	桁	2.2 m	主軸方位	N-45°-W			
出土遺物	瀬戸・美濃系擂鉢等			付属施設							
建物の機能	母屋			構築時期	江戸時代前期頃						
備考	江戸時代中期頃に廃絶										



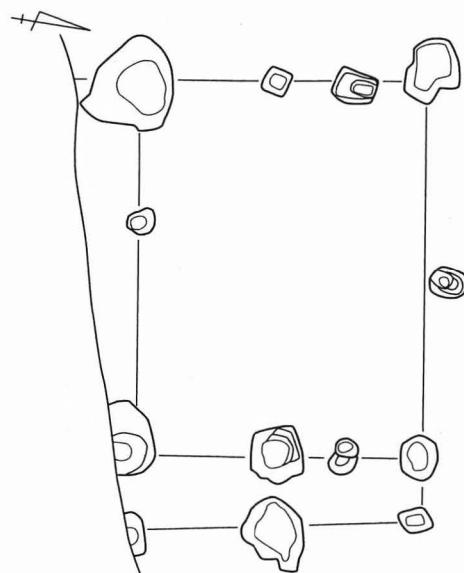
資料No.	66	遺跡名	中村遺跡				所在地	相模原市上鶴間			
遺構名	4号掘立柱建物址			構築場所	台地裾部						
規模	梁間	4.2 m	桁行	5.1 m	2~ × 3 間	面積	m ²	坪数	坪		
柱穴の形状	円形主体	柱間距離	梁	2.1 m	桁	1.5~2.0 m	主軸方位	N-0°			
出土遺物				付属施設							
建物の機能	物置または小屋			構築時期							
備考	調査区外に延びており全体は明らかでない										



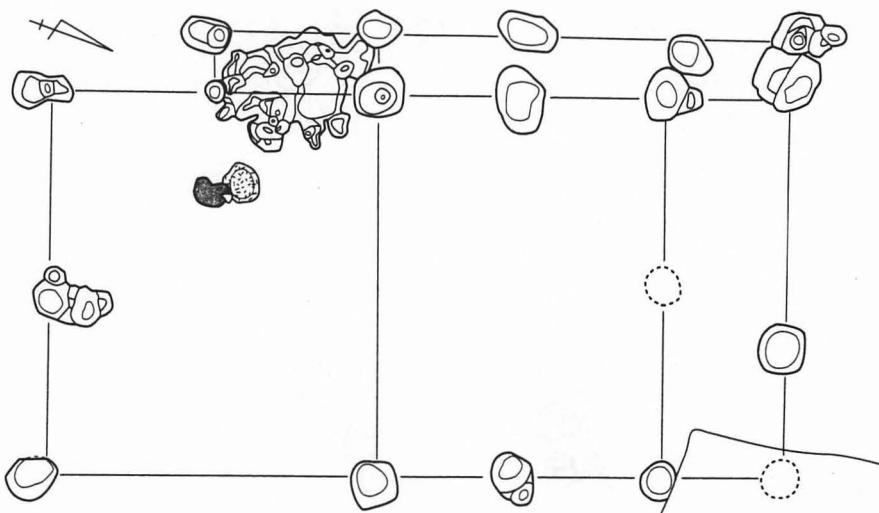
資料No.	67	遺跡名	五社神社遺跡	所在地	綾瀬市早川
遺構名	1号掘立柱建物址	構築場所	丘陵縁辺部の段切り造成面		
規模	梁間 4.9 m	桁行 3.0~m	2 × 1~間	面積 m ²	坪数 坪
柱穴の形状	円形主体	柱間距離 梁 2.5 m	桁 2.6 m	主軸方位 N-69°-E	
出土遺物		付属施設	北・南・東側に庇 間仕切り用の柱穴 1穴		
建物の機能	母屋	構築時期	18世紀代		
備考					



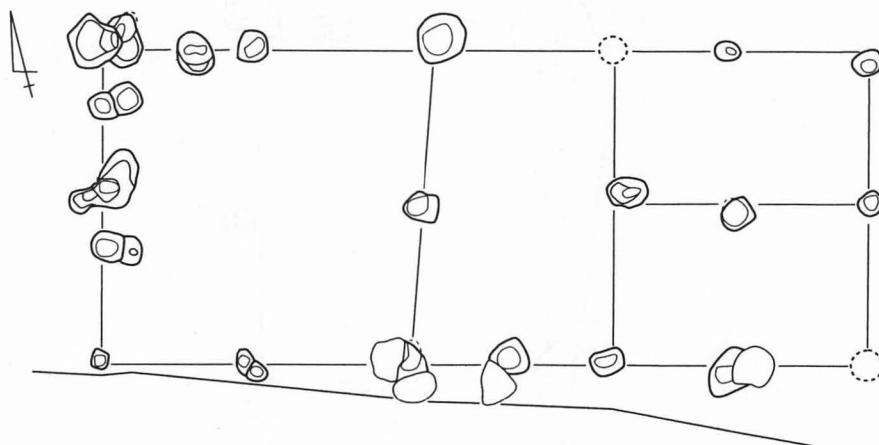
資料No.	68	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川
遺構名	SB01	構築場所	北側緩斜面の段丘上の削平面		
規模	梁間 5.5 m	桁行 6.3~m	2 × 3~間	面積 m ²	坪数 坪
柱穴の形状	不整形	柱間距離 梁 2.6、2.9 m	桁 2.1 m	主軸方位 N-10°-W	
出土遺物	陶磁器片僅少	付属施設	東側に0.5間の庇		
建物の機能	母屋	構築時期			
備考	遺存部は土間部分と推定				



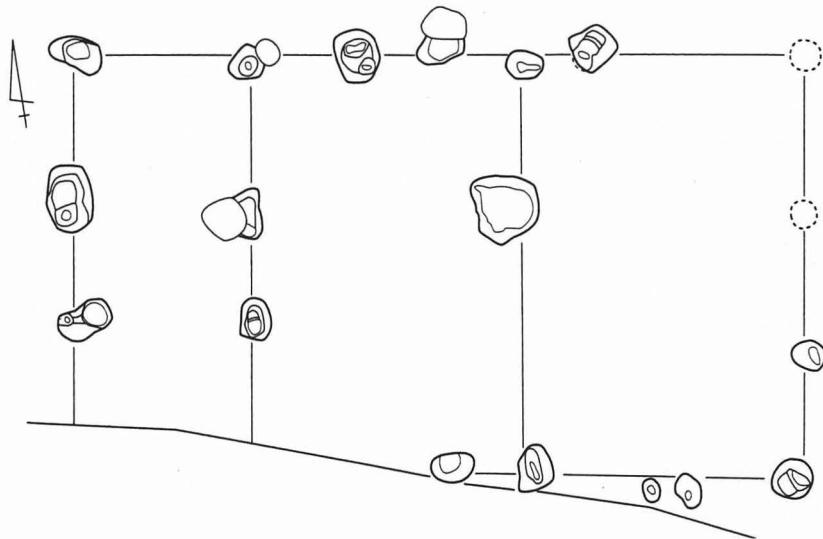
資料No.	69	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB02	構築場所	段丘北東緩斜面の削平・造成面						
規模	梁間	5.1m	桁行	9.9m	3 × 6 間	面積	50.5 m ²	坪数	15.3坪
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	2.3、2.8m	桁	1.6~2.0m	主軸方位	N-18°-W	
出土遺物	陶磁器片			付属施設	竈 流し 西側に0.5間の庇				
建物の機能	母屋			構築時期	17世紀後半				
備考	西側には井戸址が近接し、南側には全形不明ながらナヤとみられるSB03が所在する								



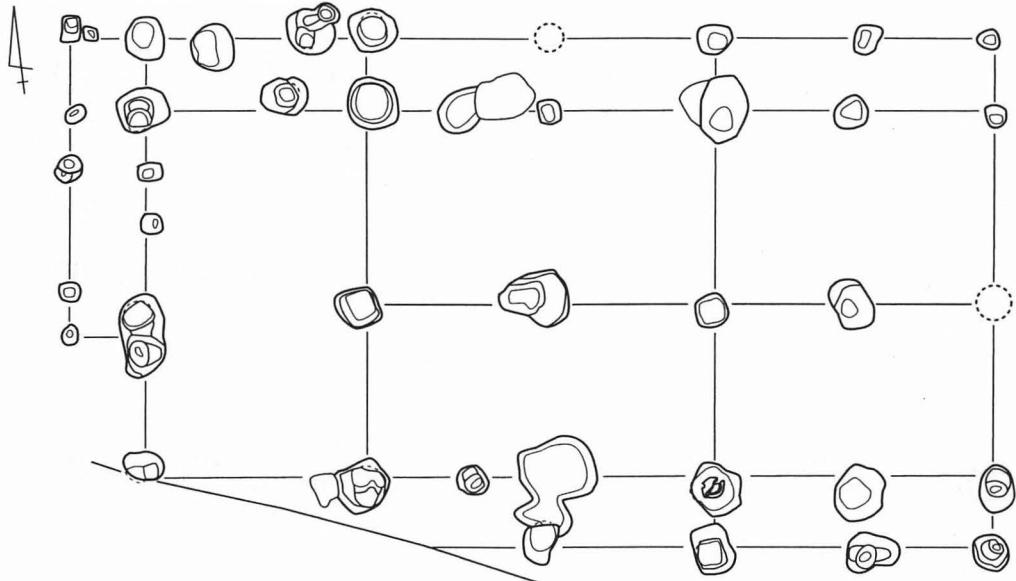
資料No.	70	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB04	構築場所	丘陵裾部を大規模に段切り造成						
規模	梁間	4.15m	桁行	10.1m	2 × 5 間	面積	41.9 m ²	坪数	12.7坪
柱穴の形状	円~楕円形	柱間距離	梁	2.1m	桁	1.5~2.4m	主軸方位	N-76°-W	
出土遺物	陶磁器片			付属施設	間仕切り用の柱穴3穴				
建物の機能	母屋			構築時期	17世紀後半				
備考	ヒロマ型の間取り SB05より古い								



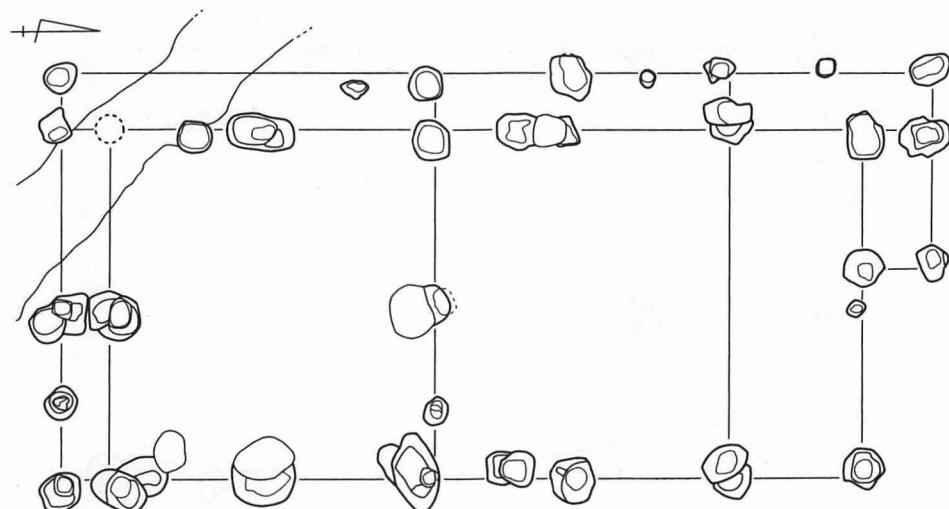
資料No.	71	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB05	構築場所	丘陵裾部を大規模に段切り造成						
規模	梁間	5.5 m	桁行	9.8 m	3 × 5 間	面積	53.9 m ²	坪数	16.3坪
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	1.5~2.1 m	桁	1.0~2.9 m	主軸方位	N-82°-W	
出土遺物				付属施設					
建物の機能	母屋			構築時期	18世紀前半				
備考	SB04より新しい								



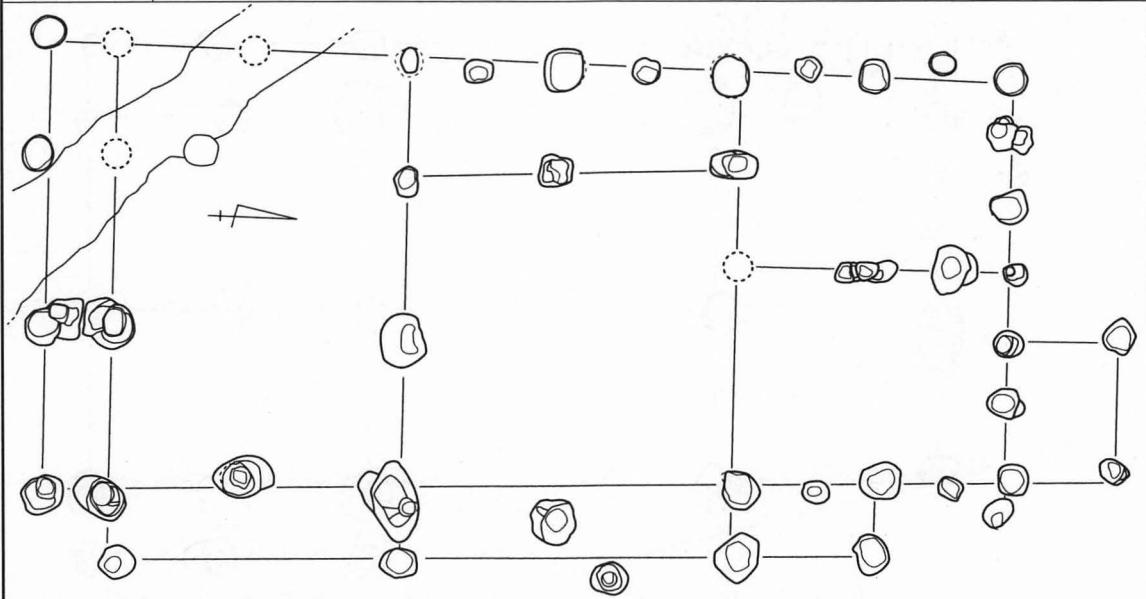
資料No.	72	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB06	構築場所	丘陵裾部を大規模に段切り造成						
規模	梁間	6.8 m	桁行	11.3 m	3 × 5.5 間	面積	76.8 m ²	坪数	23.3坪
柱穴の形状	楕円~長方形	柱間距離	梁	2.2~2.6 m	桁	1.8~2.1 m	主軸方位	N-87°-W	
出土遺物				付属施設	西側に0.5間の庇 間仕切り用の柱穴4穴				
建物の機能	母屋			構築時期	18世紀後半				
備考	南北半間部分は下屋造り 整形四つ間取り型式 SB05より新しい								



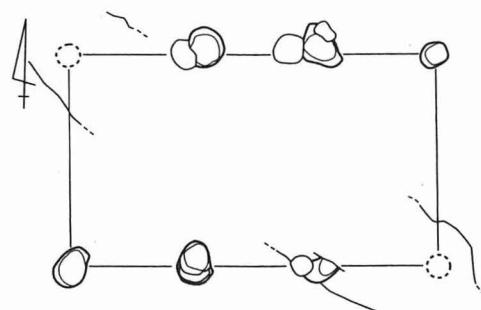
資料No.	73	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB07		構築場所		段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	4.6 m	桁行	9.9 m	2 × 5 間	面積	45.5 m ²	坪数	13.8坪			
柱穴の形状	円形主体	柱間距離	梁	1.8~2.6 m	桁	1.7~2.3 m	主軸方位	N-0°				
出土遺物					付属施設	南・西側と北側一部に0.5間の庇						
建物の機能	母屋				構築時期	18世紀前半						
備考	SB08より古い											



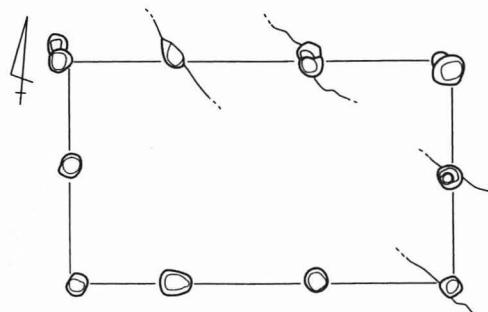
資料No.	74	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB08		構築場所		段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	5.3~5.9 m	桁行	11.9 m	3 × 6 間	面積	69.5 m ²	坪数	21.1坪			
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	1.8 m	桁	1.6~2.4 m	主軸方位	N-4°-W				
出土遺物					付属施設	南・東側に0.5間の庇 北側の張り出しへは建物に付属						
建物の機能	母屋				構築時期	19世紀前半						
備考	SB07を改築か 主柱穴の間に補助柱穴 嘘違い四つ間取り型式											



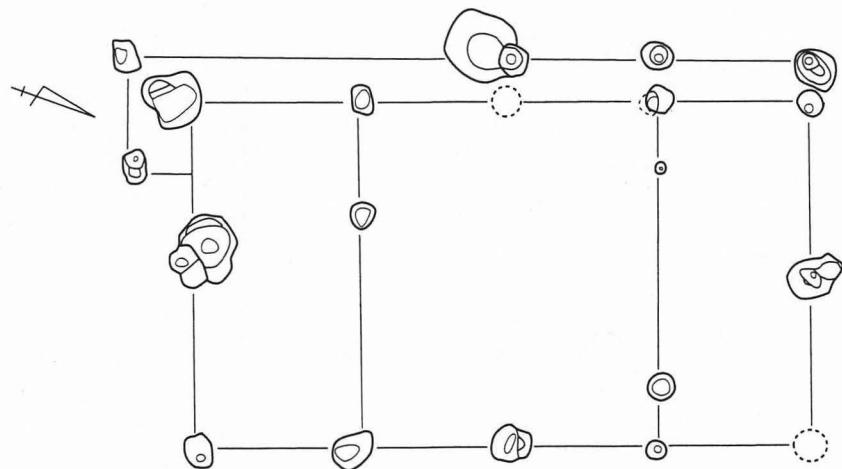
資料No.	75	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB09		構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	2.8 m	桁行	4.85 m	2 × 3 間	面積	13.6 m ²	坪数	4.1坪		
柱穴の形状	不整円形	柱間距離	梁	2.8 m	桁	1.35～1.9 m	主軸方位	N-87°-E			
出土遺物					付属施設						
建物の機能	ナヤ				構築時期						
備考	主軸方位が直交するSB07に付属										



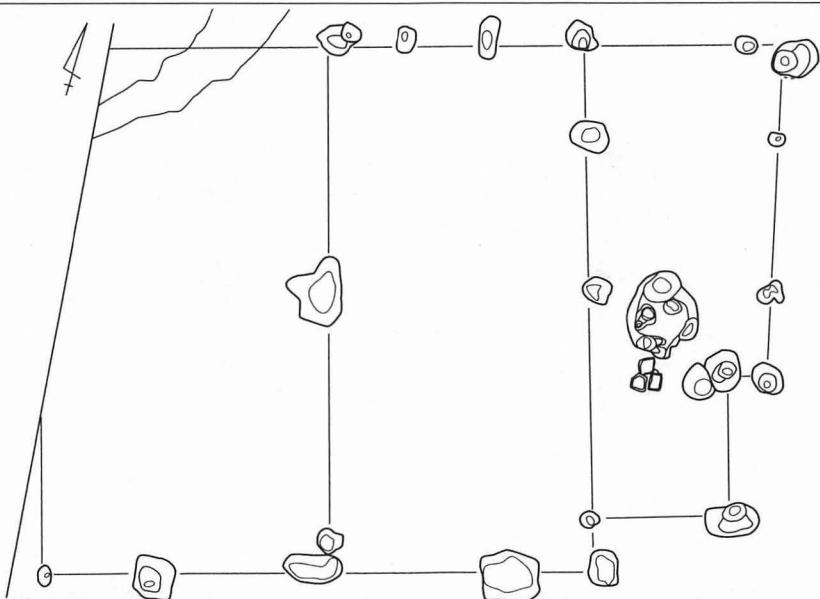
資料No.	76	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB10		構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	2.95 m	桁行	5.1 m	2 × 3 間	面積	15.0 m ²	坪数	4.6坪		
柱穴の形状	円・楕円形	柱間距離	梁	1.35・1.55 m	桁	1.4～1.9 m	主軸方位	N-86°-E			
出土遺物					付属施設						
建物の機能	ナヤ				構築時期						
備考	建物の配置からSB08に付属										



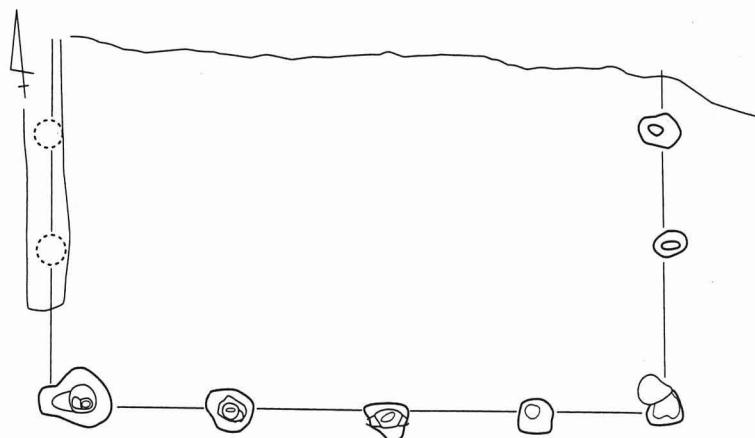
資料No.	77	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB11		構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	4.6 m	桁行	8.15 m	2 × 4 間	面積	37.5 m ²	坪数	11.4坪		
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.4～2.7 m	桁	1.9～2.2 m	主軸方位	N-17°-W			
出土遺物				付属施設	西側と南側一部に0.5間の庇 間仕切り用の柱穴 3穴						
建物の機能	母屋			構築時期	17世紀中半						
備考											



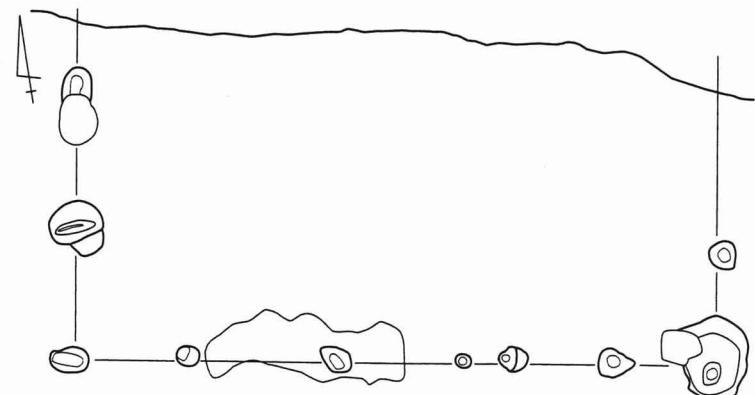
資料No.	78	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB12		構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成							
規模	梁間	8.25 m	桁行	11.3 m	3.5 × 5 間	面積	93.2 m ²	坪数	28.3坪		
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	2.1～2.4 m	桁	1.4～3.0 m	主軸方位	N-74°-E			
出土遺物				付属施設	竈						
建物の機能	母屋			構築時期							
備考	西側は一部調査区外 平面形は変則的										



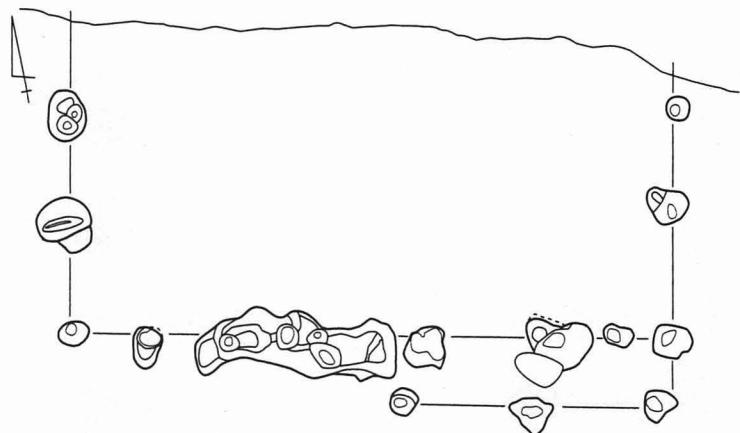
資料No.	79	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB14	構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成						
規模	梁間	8.2 m	桁行	4.4~m	4 × 5~間	面積	m ²	坪数	坪
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	1.75~2.4 m	桁	1.55、2.2 m	主軸方位	N-7°-E	
出土遺物				付属施設					
建物の機能	母屋			構築時期					
備考	西・南側を段切りしており、建物は東側が正面の南北棟と推定								



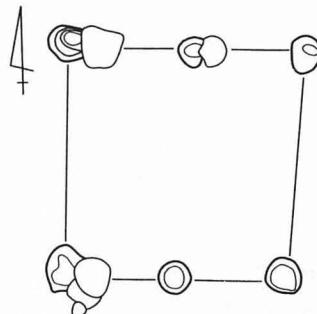
資料No.	80	遺跡名	宮久保遺跡	所在地	綾瀬市早川				
遺構名	SB15	構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成						
規模	梁間	8.5 m	桁行	4.5~m	4 × 5~間	面積	m ²	坪数	坪
柱穴の形状	円~長楕円形	柱間距離	梁	1.4~2.0 m	桁	1.8 m	主軸方位	N-7°-E	
出土遺物				付属施設					
建物の機能	母屋			構築時期					
備考	SB14より新しく、東へ1.2mずれて構築されており、建替えと判断される								



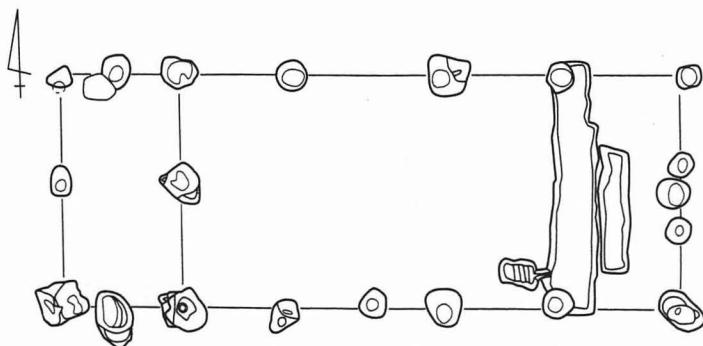
資料No.	81	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川		
遺構名	SB16			構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成					
規模	梁間	7.9 m	桁行	3.4~ m	4 × 5~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円~不整形	柱間距離	梁	0.7~1.5 m	桁	1.5 m	主軸方位	N-7°-E		
出土遺物			付属施設	南側2間分に0.5間の庇						
建物の機能	母屋			構築時期						
備考	SB15の北西側に僅かにずれて構築されており、建替えと推定									



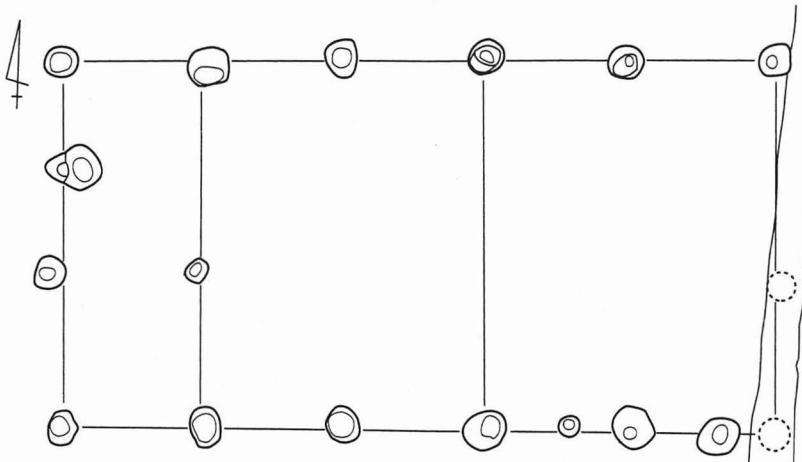
資料No.	82	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川		
遺構名	SB17			構築場所	SB14~16の東側約6m					
規模	梁間	3.1 m	桁行	2.9~3.1 m	2 × 2 間	面積	9.3 m ²	坪数	2.8坪	
柱穴の形状	円~楕円形	柱間距離	梁	3.1 m	桁	1.5~1.6 m	主軸方位	N-88°-W		
出土遺物			付属施設							
建物の機能	ナヤ			構築時期						
備考	梁間は2間吹き放ち									



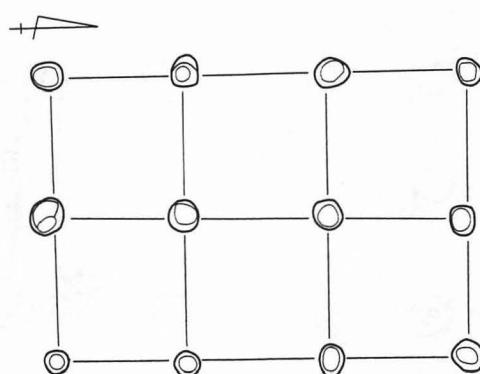
資料No.	83	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川							
遺構名	SB18		構築場所	SB14~16の東側約6m											
規模	梁間	3.1m	桁行	6.6m	2 × 4間	面積	20.5m ²	坪数	6.2坪						
柱穴の形状	円~楕円形	柱間距離	梁	1.5m	桁	1.5m	主軸方位	N-88°-W							
出土遺物					付属施設	西側に1間の庇 梁に平行して長方形の溝2本									
建物の機能	ナヤ			構築時期											
備考	SB17の建替え・拡張														



資料No.	84	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川							
遺構名	SB19		構築場所	段丘の北東緩斜面を段切り造成											
規模	梁間	4.8m	桁行	9.4m	3 × 5間	面積	45.1m ²	坪数	13.7坪						
柱穴の形状	円形主体	柱間距離	梁	1.4~2.0m	桁	1.8~1.9m	主軸方位	N-86°-E							
出土遺物					付属施設	間仕切り用柱穴1穴									
建物の機能	母屋			構築時期											
備考	建物配置等から北側が正面と推定														



資料No.	85	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB20		構築場所	SB19の北約4m							
規模	梁間	3.1m	桁行	5.5m	2 × 3間	面積	17.1m ²	坪数	5.2坪		
柱穴の形状	円～楕円形	柱間距離	梁	1.7～1.9m	桁	1.7～1.9m	主軸方位	N-0°			
出土遺物				付属施設							
建物の機能	ナヤ			構築時期							
備考	総柱式建物										



資料No.	86	遺跡名	宮久保遺跡				所在地	綾瀬市早川			
遺構名	SB21		構築場所	SB19の西約2m							
規模	梁間	2.0m	桁行	3.5・3.6m	1 × 2間	面積	7.1m ²	坪数	2.2坪		
柱穴の形状	楕円形主体	柱間距離	梁	2.0m	桁	1.75・1.8m	主軸方位	N-83°-E			
出土遺物				付属施設							
建物の機能	ナヤ			構築時期							
備考	梁間は2間吹き放ち										

